

南アフリカ為替週報

2023年11月9日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<過去1週間の動き>

(11月2日～11月8日)

USD/ZAR: 18.1581～18.5590

ZAR/JPY: 8.12～8.23(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで反落。先々週は、10月中旬に節目の5.0%を突破していた米長期金利が10月末から11月はじめにかけて4.4%台まで大きく低下したことや、11月1日に南アフリカ財務省が公表した中期財政計画(MTBPS)の財政赤字の想定は市場が危惧したほどには悪化しなかったことを受けてランドは上昇していた。先週1週間のランドの反落については、グローバルに見たドルの持ち直しが影響していると見られるが、MTBPSで示された財政規律の配慮に対し、大手格付会社のFitchをはじめ、評価しつつも一段の財政悪化リスクを危惧するコメントが目立ったことも影響しているだろう。改めてMTBPSの内容を振り返りたい。2023/24年度(南アフリカの予算年度は4月～翌年3月)の財政赤字の予想は対GDP比4.9%と2月時点の同4.0%から拡大しているものの、ブルームバーグが10月下旬に行ったエコノミスト予想(中央値)では同5.3%まで膨らむという見方となっていた。インフラ整備事業などに使われる地方自治体への条件付き交付金など支出の抑制に加え、付加価値税の引き上げなどの増税策が打ち出されている。一方、支出項目で目立った部分としては、公務員の給与の7.5%引き上げや、新型コロナ感染拡大時に導入された低所得者向けの補助金をさらに1年間延長する措置が挙げられる。一般政府総債務対GDP比率は今後も拡大が続く見通しであり、2022/23年度の対GDP比70.9%から2025/26年度には同77.7%まで債務が膨らむ予想となっている。2023年2月に公表された予算案の時点では、同73.6%でピークをつける見通しとなっていた。

このうち、Fitchが懸念を表明しているのは公務員の給与の引き上げである。もともと、南アは民間部門の給与に比べて公務員の給与水準が極めて高い。また、労働組合の力が強く、しばしば賃上げなどを求め大規模なストライキが実施され、医療・教育が麻痺することもしばしば起こっていた。公務員の給与の7.5%引き上げが発表されたことを受けて、改めて南アの財政上のリスクとして意識された格好だ。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/2	11:00	電力消費(前年比)	9月		-1.2%	-6.4%
	11:00	電力生産(前年比)	9月		-1%	-6.4%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(11月9日～11月15日)

USD/ZAR: 18.00～19.50

ZAR/JPY: 7.60～8.40

今後1週間のランド相場は引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろう。中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇リスク、米金利の動向、さらに中国の景気対策への期待、と南アを取り巻く環境が大きく変動する可能性があるためだ。もっとも、このところは相関係数を計算すると圧倒的に米金利の南アランドへの影響が大きいという結果となる。11月1日の米FOMCは2会合連続の据え置きとなったが、10月の米長期金利の急騰に伴う金融環境の一段の引き締まりのリスクをFRBが意識している、という受け止め方が目立つ。しばらくはこうした「米金利上昇の打ち止め論」に代表的な高金利通貨の1つである南アランドが恩恵を受ける可能性がある。もっとも、経常赤字と財政赤字の双子の赤字や、低迷する経済成長率など、南アの経済ファンダメンタルズには脆さがあり、外部環境の悪化時にはランドには再び下落圧力がかかりやすい点には注意が必要となろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

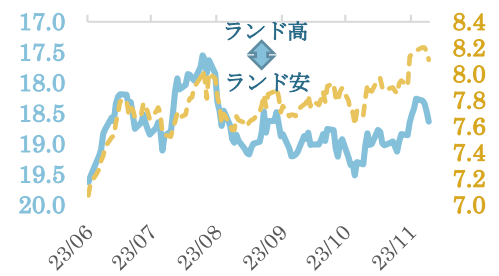
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/9	11:00	工業生産(前年比)	9月	-2.5%		1.6%
11/15	11:00	小売売上高(前年比)	9月			-0.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

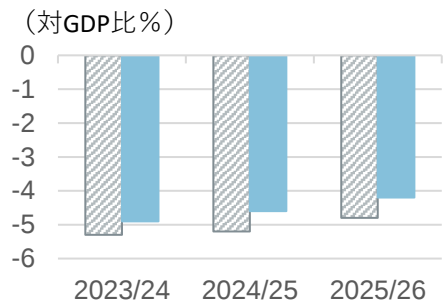
実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



財政収支

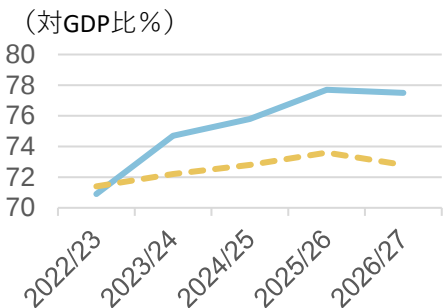
ブルームバーグ集計エコノミスト予想中央値(斜線網掛け)と中期財政計画との比較



一般政府総債務予測

実線: 2023年10月中期財政計画

点線: 2023年2月予算



(資料: SARB、南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

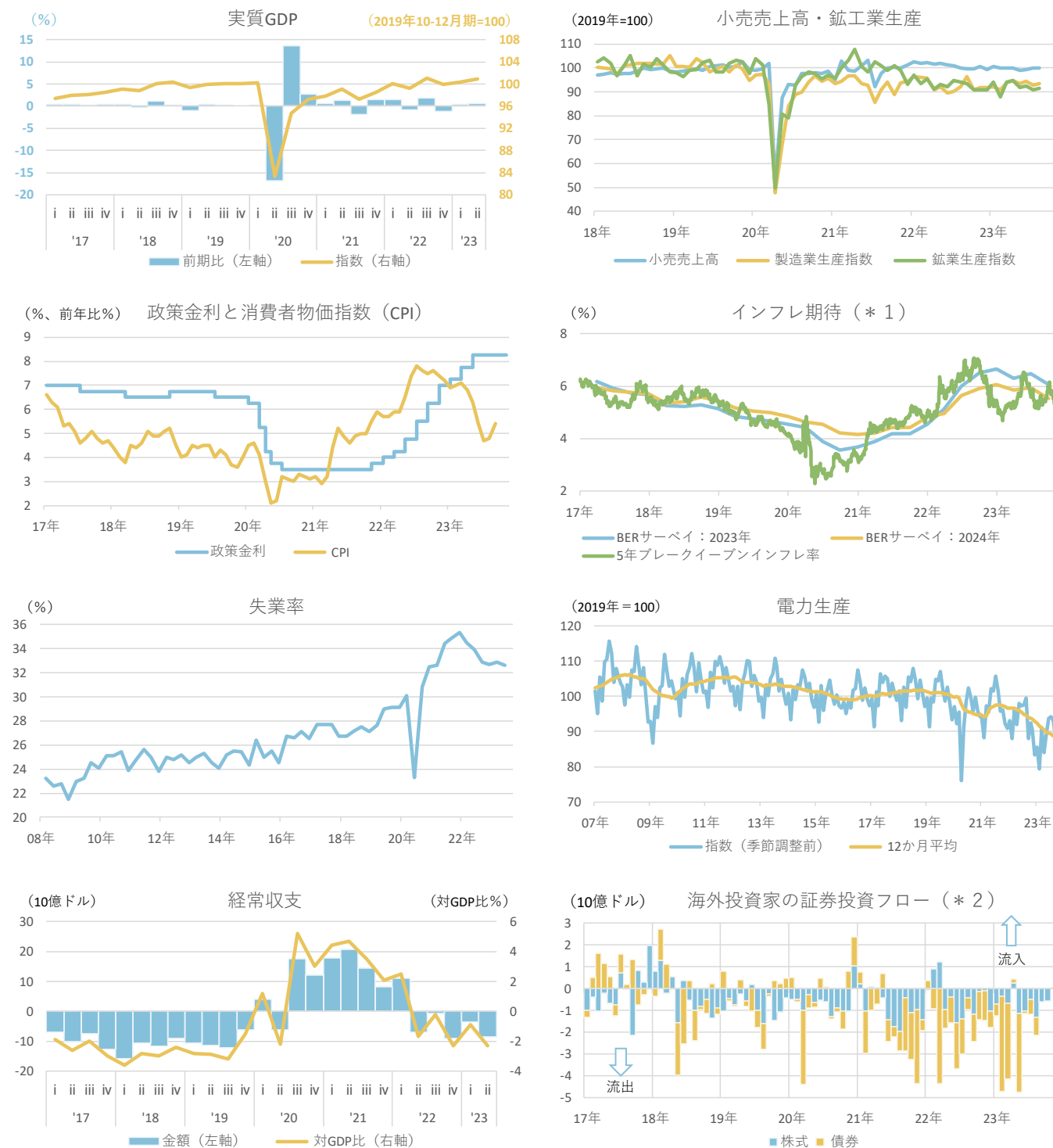
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年11月9日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

＜主要経済指標の推移＞



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年11月は1日から7日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。